

【法的根拠】
 日本国憲法
 教育基本法
 学校教育法
 学習指導要領

学校の教育目標
 人権尊重の精神を基盤に心身共に健康で一人一人が個性と能力を発揮し自ら学び自ら考え広く国際社会に生きる人間性豊かな児童を育てるために、次の目標を定める。
 ○よく考える子
 ○思いやりのある子
 ○体をきたえる子

【地域の実情】
【学校の実情】
【児童の実態】
【教師の願い】
【保護者の願い】

学校の道徳教育の重点目標
 ○自分の長所に気づき、よい点を伸ばそうとする児童を育てる。 ○よく考え、自分の力で判断し、約束やきまりを守って行動する児童を育てる。
 ○相手のことを思いやり、互いに協力し合って、活動する児童を育てる。 ○かけがえのない生命を大切にし、自他の生命を尊重する児童を育てる。

各学年の指導の重点

<p>第1学年及び2学年</p> <ul style="list-style-type: none"> ・よいと思うことを進んで行い、のびのびと生活をする。 ・友達に温かいで接し、仲良く助け合うこと。 ・生命を大切にすること。 ・みんなのことを考え、約束やきまりを守ること。 	<p>第3学年及び4学年</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の特徴に気づき、よい所を伸ばすこと。 ・思いやりの心を持ち、友達と互いに信頼し合うこと。 ・生命の尊さを知り、生命あるものを大切にすること。 ・約束やきまりを守り、公德心を持って行動すること。 	<p>第5学年及び6学年</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の特徴を知って、悪い所を改め良い所積極的に伸ばすこと。 ・相手の立場に立ち、互いに理解し合い信頼し合うこと。 ・生命がかけがえのないものであることを知り、自他の生命を尊重すること。 ・公德心を持ち、公平公正な心で正義の実現に努める
---	---	--

各教科

国語
正しい言葉遣いと豊かな表現力を身に付けさせ、物事を深く感じる力を育てる。

社会
地域社会への理解、先人の努力への感謝、国際協調の精神を養い、社会の一員として

算数
算数的な知識・技能、考え方を進んで生活に生かす態度を育てる。

理科
生命や自然の営みに触れ、自然を愛する気持ちや豊かな感性、科学的な見方考え

生活
具体的な活動や体験を通して、自立の基礎となる生活習慣を身に付けるようにする。

音楽
表現、鑑賞の活動を通して、音楽を愛する心情と豊かな情操を養う。

図画工作
表現、鑑賞の活動を通して、造形的な表現の喜びを味わわせ、豊かな情操を養う。

家庭
衣食住にかかわる活動から、家庭生活をよりよくする態度を育てる。

体育
運動と健康・安全への理解を通して、楽しく明るい生活を営む態度を育てる。

外国語
体験的な活動を通して、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育てる

読書科
読書活動を通して、積極的に学び続ける工夫とする態度を養う。

特別の教科 道徳

各学年の重点内容項目

1年	正直・誠実 生命の尊さ	親切・思いやり 規則の尊重
2年	正直・誠実 生命の尊さ	親切・思いやり 規則の尊重
3年	個性の伸長 生命の尊さ	信頼友情 規則の尊重
4年	個性の伸長 生命の尊さ	信頼友情 規則の尊重
5年	個性の伸長 生命の尊さ	相互理解・寛容 公正・公平・社会正義
6年	個性の伸長 生命の尊さ	相互理解・寛容 公正・公平・社会正義

指導方針
 ・年間指導計画に基づいた指導を進める。
 ・教師と児童が互いに心の交流を図り、よりよい生き方について共に追求する。
 ・子ども一人一人のよさを引き出し、認め、伸ばす指導の工夫を図る。

指導において
 ・主題を明確にする。
 ・教材提示を工夫する。
 ・振り返りの充実が図れるよう、他教科や経験との関連を意図して授業を行う。
 ・教師の説話では、教師の実体験にもとづいた話をする。

外国語活動

言語や文化について体験的に理解を深め、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育てる。

日本と外国との生活、習慣、行事などの違いを知り、多様なものの見方や考え方があることに気付く。

総合的な学習の時間

横断的・総合的な学習や探究的な学習を積極的に推進し、主体的に問題を解決する資質や能力を育てる。

協同的に取り組む態度を育て、自己の生き方を考えることができるようにする。

特別活動

学級活動
望ましい人間関係を形成し、諸問題を解決しようとする自主的、実践的な態度を育て

児童会活動
よりよい学校生活を送るために、協力して諸問題を解決しようとする自主的、実践的

クラブ活動
個性の伸長を図り、協力して諸問題よりよいクラブづくりに参画しようとする自主的、

学校行事
集団への所属感を深めよりよい学校生活を築こうとする自主的、実践的な態度を育

生活指導
 ・基本的な生活習慣の定着を図る。
 ・個性を生かした指導を重視し、人間の生き方について考えさせる。

環境整備
 ・教師と子ども、子ども相互の人間関係を温かいものにするため、互いを尊重し合う。
 ・校内外の美化活動を進め、潤いのある環境づくりに努める。

家庭・地域との連携
 学校、家庭、地域三者の相互理解を深め、協体制を整える。
 ・保護者、地域の方々からの人材活用

推進体制
 ・道徳教育推進教師を中心とした指導体制の充実を図る。
 ・各学年、作成した教材を共有し、年間を通して学習をまとめる道徳ファイルの活用。